

四季フェス 改め 小美玉さくらフェスティバル



「これから本格的に準備が進むので、委員一丸となってがんばります。」と語る森下さん

小美玉さくらフェスティバル
みの〜れ実行委員会委員長

森下 知是さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.33

梅香る二月。春の陽気になったかと思えば、真冬に逆戻りするこの時期。そろそろ桜の開花が待ちどおしくなってくることでしよう。今年も四季の里ではさくらフェスティバルが盛大に開催される。ネーミングも「小美玉さくらフェスティバル」と改め、盛りだくさんの楽しいイベントを企画している。今回は、フェスティバルの実行委員長を務める羽刈地区に住む森下さん取材する。

一人ひとりの アイデアで 楽しい企画に

森下さんはPTA活動や羽刈地区のお祭りを通してみの〜れと関わりを持つようになり、今年のさくらフェスティバルの実行委員長に選ばれた。実行委員会は、森下さんを中心に約30名、一人でも多くの方に喜んでもらえるような企画を

から手作りして練り上げていく。「実行委員長は、みんなの意見を聞きながらまとめているので大変だと思うがやりがいのある仕事。今回、メンバーには、高校生や大学生の若者も多く、面白いアイデアも活発に出ていて、情熱溢れる姿に感動させられる。」と森下さんは話す。今年のフェスティバルは「つくる よろこび 子どもも大人も いきいき 感動空間」がテーマ。屋外では模擬上棟式をはじめ、昔遊び体験コーナーや電気機関車、ふれあい動物園などを予定している。毎年好評の機関車の周りには、市内の

保育園・幼稚園の子どもたちの絵の展示もあり、今年はまだ一味違った風景になるようだ。また、みの〜れの館内では、みの〜れ住民楽団・楽団四季「ジョリーフォレストジャズオーケストラ」の2nd LIVEをはじめ、プラネタリウムや紙大相撲、工作体験、手づくり楽器などと盛りだくさんの内容があり、感動あり、笑いありの一日を家族で過ごすことが出来そう。

森下さんの趣味は飛行機のプラモデル作り。中学生の頃から作り出し現在完成品は約100機、まだ手を付けていない物が約600機もあるという。飛行機が大好きで航空自衛隊に入隊したと森下さんは当時を振り返った。現在は自衛隊を退官し、正看護師の資格を修得後、病院に勤務している。「祖母が助産師をしていて、お腹の大きな女性がどうして毎日毎日来るんだろう？と子どもの頃は不思議だった。後になって祖母の仕事を知り、知らず知らずのうちに自分でもこの道を選んでいた。今の時代だからこ

そ資格があつて良かった」と話す。ご夫妻で看護師ということもあり、森下さんが休みの日は料理の腕を振るうこともあるという。

様々な特技を持っている森下さんは、「小美玉さくらフェスティバル」開催に向け、「人を集めて一つのイベントをやるといことは大変だ」と思うが楽しみでもある。市をあげてのイベントなので、実行委員のみなさんが一致団結して進むことが必要不可欠。もちろん商工会のみなさんにも協力していただき、ぜひともイベントを成功させたい」と話してくれた。

「さくらフェスティバル」は一から手作りして仕上げている。企画委員のみなさんは、来ていただいた沢山のみなさんに感動して帰ってもらえるよう楽しい企画を準備している。4月3日には、ぜひ四季の里で楽しい一日をお過ごしください。

(藤田佐知子)